

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんおおさかふいはもにーきょうかい 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会		
代表者職・氏名	理事長 奥 正之		
制作団体所在地	〒 557-0041		
	大阪市西成区岸里1-1-44		
電話番号	06-6656-7711	FAX番号	06-6656-7714
ふりがな 公演団体名	おおさかふいはもにーこうきょうがくだん 大阪フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	常務理事 松村 隆		
公演団体所在地	〒 557-0041		
	大阪市西成区岸里1-1-44		
制作団体 設立年月	昭和25(1950)年 4 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	別添あり	別添あり	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	野瀬 遼太郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	荒堀 秀太

制作団体沿革	昭和22(1947)年1月 朝比奈隆を中心として大阪フィルの前身「関西交響楽団」を結成 昭和25(1950)年4月 「社団法人関西交響楽協会」を設立し、関西交響楽団の助成にあたる 昭和35(1960)年5月 関西交響楽団を一旦解散し、新たに「大阪フィルハーモニー交響楽団」を結成 昭和57(1982)年5月 協会の名称を「社団法人大阪フィルハーモニー協会」に改める 平成8(1996)年4月 社団法人大阪フィルハーモニー協会が、大阪フィルハーモニー交響楽団(任意団体)を統合 平成24(2012)年4月 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会に移行 平成28(2016)年7月 大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会を開催 平成29(2017)年4月 楽団創立70周年を迎える 平成30(2018)年4月 第3代音楽監督に尾高忠明が就任			
学校等における公演実績	昭和22年、大阪フィルハーモニー交響楽団の前身である「関西交響楽団」の結成当初から、オーケストラの普及活動のために、学校の体育館や地元施設等、様々な会場で学生のための公演を重ねています。 近年では平成29年度・8回、平成30年度・6回、令和元年度・6回、令和2年度・1回、令和3年度・3回(予定)、学校を対象にした公演を開催しているほか、小編成によるアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでおり、平成29年度・22回、平成30年度・20回、令和元年度・24回、令和2年度・8回、令和3年度・11回(予定)、学校の体育館などで演奏会やワークショップを行っています。 また、平成11年から毎年開催している自主事業「親子のためのオーケストラ体験教室」は、令和元年に20年という節目を迎えたロングラン企画となり(新型コロナウイルスの影響により令和2年の公演は中止、令和3年の公演は形を変えて開催)、通算公演回数は80回、観客動員数は延べ2万人を超えています。そのほか、企業や公益法人、自治体からの依頼による「ファミリーコンサート」なども手掛けています。			
特別支援学校における公演実績	平成21年度 奈良西養護学校(文化庁「本物の舞台芸術体験事業」) 平成26年度 柏崎特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 平成29年度 福岡市立南福岡特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 平成30年度 東京都立南花畑特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 令和元年度 兵庫県立いなみ野特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」)			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://xgf.nu/HgpP	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID:		
	PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	Enjoy！オーケストラ！					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	1. ショスタコーヴィチ／祝典序曲（5分） 2. それぞれの楽器の音を聴いてみよう！～弦楽器編～（8分） 3. モーツァルト／ディヴェルティメントニ長調 K.136より 第1楽章（3分） 4. それぞれの楽器の音を聴いてみよう！～管打楽器編～（12分） 5. 【指揮者体験コーナー】オーケストラを指揮してみよう！～ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番より～（15分） 〔次のプログラムは小学生と中学生で異なります〕 6. 【小学生】【ボディパーカッション共演】自分の身体を使ってオーケストラと共演してみよう！（10分） 〔中学生〕【オーケストラ分解演奏】それぞれの楽器の役割を勉強してみよう！～チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より（10分） 7. 貴志康一／管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀（7分） 8. 【合唱共演】オーケストラと一緒に歌ってみよう！～校歌、Believe、翼をください など～（4分） ※ 9. ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第3楽章・第4楽章（14分） 10. (アンコール)J.シュトラウス1世／ラデツキー行進曲（3分） ※学校からの要望に合わせて、その他の合唱曲での共演、また吹奏楽部や金管バンドとの共演にも変更可能です。 公演時間(約 85 分)					
著作権	○	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	本格的な作品から体験型プログラムまで、飽きのこない演目でお届けいたします。 1. オープニングはロシアの作曲家ショスタコーヴィチの「祝典序曲」。金管楽器の華やかで圧倒的なサウンドのファンファーレで幕開けです。 2. オーケストラを構成する楽器を一つずつ紹介します。まずは弦楽器を順番に紹介し、演奏も交えて音色の違いをお楽しみいただきます。 3. オーケストラ特有の弦楽合奏の響きを、モーツァルトの名曲「ディヴェルティメントニ長調 K.136より 第1楽章」でお聴きいただきます。 4. 弦楽器に続き、木管楽器・金管楽器・打楽器の音色をセクションごとに一つずつお楽しみいただきます。 5. 指揮者の役割を説明し、代表の生徒・児童にオーケストラを実際に指揮していただきます(ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番より)。 6. 【小学生】ボディパーカッション共演 自分の身体を使って手拍子したり足踏みしたりしてリズムを刻みながら、オーケストラの演奏に合わせて参加してもらいます。 〔中学生〕オーケストラ分解演奏 作曲家は各楽器にどのようなイメージを与えたのか、チャイコフスキーの「白鳥の湖」を題材に各楽器の役割を説明を交えながら実演します。 7. 大阪出身の作曲家、貴志康一の「道頓堀」を大阪フィルの演奏でお届けします。人情味あふれる大阪の情景をイメージしてお楽しみください。 8. オーケストラの伴奏に合わせて、校歌や合唱曲などで共演いただきます。各校の要望に応じて、吹奏楽部などとの共演にも変更可能です。 9. 交響曲史上最も有名なベートーヴェンの「運命」。第1楽章は誰もが耳にしたことがあると思いますが、今回は苦難から栄光へと進む第3楽章と第4楽章を演奏いたします。オーケストラの全ての楽器が活躍するダイナミックな演奏を最後まで堪能いただきます。					
演目選択理由	フルオーケストラのダイナミックな演奏と本格的な作品を楽しんでいただくとともに、鑑賞だけではなく様々な形でオーケストラと共演できるプログラムで、「①見て・聴いて」「②体感して」という体験型の演奏会をお楽しみいただける演目をご用意いたしました。 「①見て・聴いて」 オープニングにはショスタコーヴィチの「祝典序曲」、メインにはベートーヴェンの交響曲第5番「運命」より第3楽章・第4楽章をお聴きいただき、フルオーケストラの圧倒的なサウンド感と本格的なクラシック作品を通して、オーケストラの醍醐味を味わっていただきます。また、大阪出身の作曲家である貴志康一の作品を取り上げることで、大阪を拠点に活動している大阪フィルハーモニー交響楽団ならではのレパートリーとして、邦人作曲家の存在などを知っていただくきっかけになればと願っています。 「②体感して」 普段オーケストラやクラシック音楽に触れる機会の少ない児童・生徒の皆さまにも楽しんでいただけるよう、指揮者体験コーナーやボディパーカッション共演、合唱でオーケストラと共演など体験型のプログラムを充実させています。指揮者体験コーナーでは代表の児童・生徒に指揮者になってもらいオーケストラを指揮していただきます。指揮者が代わればオーケストラの演奏にも違いが出ることが鑑賞している皆さまにも感じていただけたと思います。また、ボディパーカッション共演では実際に自分の身体を使って演奏に参加してもらいほか、合唱共演ではオーケストラの伴奏に合わせて歌っていただくことができますので、本公演での共演に向けて普段の授業などで楽しく取り組んでいただき、充実した学校生活の一翼を担うきっかけになればと願っています。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【指揮者体験コーナー】 最大3名の代表児童・生徒に実際に指揮台に上がってもらい、オーケストラを指揮していただきます。体験前に指揮者から指揮の基本動作や心構えなどを直接アドバイスいたしますので、初めての体験でもご安心ください。なお、体験してくれた児童・生徒には指揮棒をプレゼントいたします。 【ボディパーカッション共演】 オーケストラの演奏に合わせて、手拍子や足踏みなど自分の身体を使ってリズムを刻んで共演いただきます。打楽器奏者が先導してリズムの練習と合図を出しますので、その場ですぐに参加可能なプログラムです。全員で一体となってリズムを奏でたときの醍醐味を体感いただきます。 【合唱共演】 校歌や合唱曲をオーケストラの伴奏で歌うという贅沢な共演プログラムです。学校からの要望に応じて、その他の共演方法に変更も可能です。					
出演者	指揮：中井 章徳(なかい あきと) ほか 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団(3管12型) ※別紙「No.2メンバー表」参照					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 70 名 スタッフ： 10 名 合 計： 80 名		機材等 運搬方法 積載量： 4 t 車 長： 8.15 m 台 数： 1 台			

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9 時	9 時 ～ 11 時	1 時 ～ 2 時 30 分	0 分	3 時 ～ 5 時	5 時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	鑑賞エリアのスペースが確保できれば全校児童・生徒参加可能				
	本公演	鑑賞エリアのスペースが確保できれば全校児童・生徒参加可能				
ワークショップ 実施形態及び内容	①課外授業&ミニコンサート 2～3名のメンバーが学校を訪問し、課外授業&ミニコンサートを開催します。オーケストラにはどのような楽器があるのか、それぞれの楽器の仕組みなどを説明し、実際に演奏もお楽しみいただきます。 ②吹奏楽部(弦楽部・オーケストラ部)のレッスン 2～3名のメンバーが学校を訪問し、共演曲や現在取り組んでいる作品のパートレッスンや合奏指導など、学校のご要望に応じて指導いたします。					
ワークショップ 実施形態の意図	①課外授業&ミニコンサート 本公演の前に、オーケストラの構成や各楽器の仕組みを知ってもらうことで、オーケストラへの関心を持ってもらうとともに、本公演への期待を高めることを目的として開催いたします。 ②吹奏楽部(弦楽部・オーケストラ部)のレッスン プロの演奏家から直接レッスンを受けることで、今後の演奏活動に活かすことのできる経験と刺激を受けることができるとともに、本公演での共演に向けて更なる技術向上を図るため開催いたします。					
特別支援学校での 実施における工夫点	各支援学校の状況などに応じて、公演時間の短縮や演目の一部差し換えなど対応させていただきます。また、児童・生徒との共演方法なども各校のご要望に応じて柔軟に対応させていただきます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.1	【公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団	】
項目内容	【政策団体組織】 ■役職員 理事長:奥 正之 常務理事:松村 隆 常任理事:角元敬治、中嶋啓吾、新沼 宏、福田里香、彌園豊一、室町鐘緒、森崎健志 理事:天野剛志、安藤恭輔、大場英幸、小原一泰、川合陽一郎、高津英泰、斉藤裕典 宍道 学、鶴田七郎、中谷敏昭、西岡信雄、長谷川 壮、秀高 誠、山本卓彦、和田謙也 監事:長田晃一、森下文夫 楽団員:68名(内、特別契約4名) 事務局員:15名(常勤雇用) ■団体構成員及び加入条件等 1. 正会員数 517 (令和3年3月末現在) 内 法人会員 255 社、個人会員 262 名 2. 加入条件 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人で、毎年下記の会費を拠出するもの 会費 法人 年額20万円／口 個人 年額 5万円／口			

大阪フィルハーモニー交響楽団 メンバーリスト

(令和3年8月1日現在)

ソロ・コンサートマスター

崔 文洙

コンサートマスター

須山 暢大

第一ヴァイオリン

石塚 海斗
石原 優香
神崎 悠実
黒瀬 奈々子
三瀬 麻起子
鈴木 玲子
表 ボルン
藤木 愛
力武 千幸

ヴィオラ

井野邊 大輔
岩井 英樹
川元 靖子
佐藤 まり子
周 平
菅崎 舞
松本 浩子

フルート

井上 登紀
田中 玲奈
野津 臣貴博

ホルン

蒲生 絢子
高橋 将純
藤原 雄一
和久田 侑希

第二ヴァイオリン

浅井 ゆきこ
市野 桂子
久貝 ひかり
小林 亜希子
高木 美恵子
田中 美奈
中西 朋子
宮田 英恵
横山 恵理

チェロ

石田 聖子
近藤 浩志
庄司 拓
田中 賢治
花崎 薫
林口 真也
松隈 千代恵
諸岡 拓見

オーボエ

大島 弥州夫
大森 悠
水村 一陽

トランペット

秋月 孝之
篠崎 孝
高見 信行

クラリネット

金井 信之
田本 摂理
船隈 慶

トロンボーン

ロイド・タカモト
福田 えりみ
吉田 勝博

コントラバス

秋田 容子
池内 修二
サイモン・ポレジャエフ
松村 洋介
三好 哲郎
山田 俊介

ファゴット

久住 雅人
小林 佑太朗
日比野 希美

テューバ

川浪 浩一

打楽器

井口 雅子
中村 拓美
堀内 吉昌

ハープ

平野 花子

大阪フィルハーモニー交響楽団

「文化芸術による子供育成総合事業」

本公演前に行う『ワークショップ』では、大阪フィルハーモニー交響楽団の楽団員 2～3 名が各校を訪問し、それぞれの楽器の仕組みや音楽家としてのお話を聞いてもらうほか、各楽器の個性を生かした演奏も聴いていただきながら、本公演に向けてオーケストラへの関心を高め、音楽を聴く楽しさを体感していただきます。

本公演では、70 名を超えるフルオーケストラが各校を訪問し、体育館をコンサートホールに変えて演奏会を行います。ワークショップで聴いた個々の楽器の魅力、その楽器の響きが重なり合うことで新たな世界が生まれるオーケストラの魅力を、見て聴いて全身で体感していただきます。

♪ワークショップの様子



☆それぞれの楽器について詳しく説明！実際に演奏を聴いていただいて本公演への期待を高めます。

♪コンサートの様子



☆目の前で聴くフルオーケストラの演奏は迫力満点！指揮者体験や合唱共演なども予定しています。

～出演者紹介～



指揮 中井 章徳（なかい あきとく）

くらしき作陽大学音楽学部指揮専攻を首席で卒業。同大学大学院音楽研究科修了。1998年、ポーランドで開催された「第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクール」指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞および全部門の最優秀者に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を同時受賞。現在、出雲芸術アカデミー芸術監督、出雲フィルハーモニー交響楽団常任指揮者、北九州シティオペラ客演指揮者。京都市立芸術大学大学院博士課程（後期）作曲・指揮領域において、さらなる研究に取り組んでいる。



大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年創立の関西で最も長い歴史を持つオーケストラ。朝比奈隆、大植英次が音楽監督、井上道義が首席指揮者を歴任し、2018年から尾高忠明が第3代音楽監督を務める。創立名誉指揮者・朝比奈隆との55年にわたる活動で磨き上げた、重厚で迫力ある演奏が特徴。本拠地である大阪・フェスティバルホールでの定期演奏会をはじめ、全国各地で演奏を展開している。2017年4月、創立70周年を迎えた。

～公演内容～

〈 Enjoy ! オーケストラ ! 〉

♪は体験型プログラム。

1. ショスタコーヴィチ／祝典序曲
2. 【弦楽器紹介】 ヴァイオリン、チェロ等、弦楽器一つずつの音を聴いてもらいながら紹介
3. モーツァルト／ディヴェルティメント 二長調 K.136 より 第1楽章
4. 【管打楽器紹介】 木管楽器、金管楽器、打楽器一つずつの音を聴いてもらいながら紹介
5. ♪【指揮者体験コーナー】 ブ람ス／ハンガリー舞曲 第5番より
6. 〔次のプログラムは小学校、中学校で異なります〕
 ＜小学校＞ ♪【ボディ・パーカッション共演】
 ＜中学校＞ ♪【オーケストラ分解演奏】

 チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より
7. 貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より “道頓堀”
8. ♪【全員合唱】 Believe or 翼をください or 花は咲く or 校歌 など

 ※学校のご要望に合わせて、吹奏楽部や金管バンドとの共演等、変更も可能です。
9. ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第3・第4楽章

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F73	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	4室	条件	指揮者(1名)、コンサートマスター(1名)、楽団員男性(約35名)、楽団員女性(約35名)が必要です。食事および着替えを行いますので、飲食可能でカーテンもしくは目張りのある部屋を希望します。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	大型バス	3台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			4tトラックの進入が難しい場合、4tトラックを2tトラック2台に変更することも可能です。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(幅2.5m×高さ3.5m×長さ8.5m)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			コントラバスや打楽器等の大型楽器を搬入するため、雨天時に楽器が濡れないようにご配慮いただけますと幸いです。					
	設置階の制限 *			問わない				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m		高さ	2.1m	可	
WSIについて	参加可能人数		問わない(スペースが許す限り可能です)					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	小学生		中学生		可	
	所要時間の目安 単位:分	小学校:45分程度×2コマ(低学年と高学年に分けてのWSが望ましい) 中学校:50分程度×1～2コマ						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		問わない(スペースが許す限り可能です)					可	
	舞台設置場所 *		フロア					不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18m	奥行	13m	高さ	問わない	可	
	体育館の舞台を使用 する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			可	
		舞台袖スペースの条件 *			特になし			可	
		緞帳 *	要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由				可	
	ピアノの調律・移動の 要否 (調律費・移動費は経 費対象外です)	指定位置へのピアノの 移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。			可		
		ピアノの事前調律 *	不要					可	
	フロアを使用する場 合の条件	バスケットゴールの設置 状況 *	格納されていれば可					可	
	公演に必要な電源容量		なし	※主幹電源の必要容量			可		
	その他特記事項							応相談	
学校内が土足不可の場合、スリッパを80足借用させていただきたく存じます。							可		
本番時に本番用の黒靴(土足とは別の靴です)を着用して演奏させていただきたく、ご許可願います。							不可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.1m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

